

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【公表番号】特表 2001-510613(P2001-510613A)

【公表日】平成 13 年 7 月 31 日 (2001.7.31)

【出願番号】特願平 10-533157

【国際特許分類第 7 版】

G 1 1 C 11/15

H 0 1 L 27/10

H 0 1 L 43/08

【F I】

G 1 1 C 11/15

H 0 1 L 27/10 4 5 1

H 0 1 L 43/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 23 日 (2005.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

自発手続補正書

平成17年2月23日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第533157号 ✓

~~(PCT/US98/01905)~~

2. 補正をする者

住 所 アメリカ合衆国 78735 テキサス州 オースティン ✓

ウィリアム キャノンドライブ ウェスト 6501 ✓

氏 名 フリースケール セミコンダクター インコーポレイテッド ✓

(名 称)

3. 代 理 人

住 所 東京都新宿区新宿四丁目2番18号

新宿光風ビル4階

TEL 03-3356-9810

FAX 03-3356-9812

氏 名 ~~11632~~ 弁理士 桑垣 衛

B632



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

(1) 請求の範囲の記載を別紙の通り補正する。

「請求の範囲」

1. 磁気記憶セル内において、ある幅を有する磁気材料層であって、前記層の前記幅よりも長い長さを有する磁気材料層であって、前記磁気記憶セルは：

不連続部分において、高い磁界と磁極の形成を阻止する滑らかな曲線を描く両端部；および、

前記層の前記幅は、前記磁気材料層内の磁壁の幅より小さく、滑らかな曲線を描く両端部における磁気端部ベクトルは前記長さに実質的に平行な方向を指す前記幅；

によって構成され、

前記層内の全ての磁気ベクトルが、前記磁気材料層の前記長さに実質的に沿った方向を指すことを特徴とする磁気材料層。

2. 磁気記憶セル内において、前記層の前記長さは、前記磁気材料層の前記幅の少なくとも2倍であることを特徴とする、請求項1記載の磁気材料層。

3. 磁気記憶セル内において、前記磁気材料層の前記両端部が楕円形であることを特徴とする、請求項1記載の磁気材料層。

4. 多層磁気記憶セルであって：

滑らかな曲線を描く両端部を有する磁気材料の第1層；

前記第1磁気材料層の上に配置される非磁気材料層；

前記非磁気材料層の上に配置されて、磁気記憶セルを形成する、滑らかな曲線を描く両端部を有する第2磁気材料層；

によって構成され、

前記磁気記憶セルは、ある幅とある長さを有し、前記幅は、前記磁気材料層内の磁壁の幅より小さく、滑らかな曲線を描く両端部における長い磁気端部ベクトルを、前記磁気材料層の前記長さに実質的に沿った方向を指すようにする磁気記憶セルであって；

前記層内の全ての磁気ベクトルが、前記磁気材料層の前記長さに実質的に沿った方向を指すことを特徴とする多層磁気記憶セル。

5. 前記第1層および第2層の前記幅が、磁壁の幅より小さいことを特徴とする、請求項6記載の多層磁気記憶セル。

6. 前記第1層および第2層の前記長さが、磁気材料の前記第1層および前記第2層の幅の少なくとも2倍であることを特徴する、請求項6記載の多層磁気記憶セル。

7. 磁気材料の前記第1層と第2層の両端部が楕円形であることを特徴とする、請求項6記載の多層磁気記憶セル。」